

## 平成26年度八富成田斎場管理運営連絡協議会会議概要

### 1. 開催日時

平成27年1月30日（金） 午後2時00分～午後2時35分

### 2. 開催場所

成田市花崎町760番地 成田市役所6階中会議室

### 3. 出席者

小泉会長(成田市長)

関根副会長(成田市副市長), 北村副会長(八街市長), 相川副会長(富里市長)

油田委員, 小山委員, 神崎委員・・・(成田市議会選出)

丸山委員, 山口委員・・・(八街市議会選出)

鈴木委員, 佐藤委員・・・(富里市議会選出)

成田市環境部長, 環境衛生課長, 環境衛生課係長

八街市経済環境部長, 環境課長, 環境課斎場担当者

富里市市民経済環境部長, 環境課長, 環境課斎場担当者

### 4. 議題

1 平成26年度八富成田斎場維持管理費決算（見込み）について

2 平成27年度八富成田斎場維持管理費予算（案）について

### 5. 議事（要旨）

・議題1について、資料に基づき事務局から平成26年度八富成田斎場維持管理費決算（見込み）の説明を行った。

委員からの質疑はなし。

・議題2について、資料に基づき事務局から平成27年度八富成田斎場維持管理費予算（案）の説明を行った。

議題2について出された意見は次のとおり。

（○意見や質問、◆意見や質問に対する回答）

○丸山委員 歳入の式場使用料の件数が1,000件としているが、使用状況は毎年減っているように思うが、1,000件にした理由を教えてください。

◆**事務局** 予算の歳入を見込む時に毎年件数は変えずに要求してきた経緯があり、火葬料なら 150 件、待合室なら 500 件ということにしております。しかしながら、ご指摘のとおり毎年減少傾向にありますので、H27 年度はこのような形で組みさせていただきましたが、H28 年度の予算編成時には実情にあった件数にしていこうと考えております。

○**小山委員** 実質支障をきたしているわけではないですが、最近確認してはいないが、事務室の天井に雨漏りの跡のシミがあり、カバーするとか天井を取り替えるとか何か処置する予定はあるか。

◆**事務局** 事務室の天井にシミがありまして、それは屋根の排水のドレンが詰まってしまい、それにより一時的な雨漏りがあったことによるもので、そのドレンは今は清掃するようにしております。天井のシミはそのままになっておりますが、雨漏りの原因であるドレンの詰りは改善されております。

○**小山委員** 室外のお客さんからは見えるところではないですが、室内に入ってみると、事務所として暗さを感じるので処置していただけるとありがたいと思います。

◆**小泉議長** では要望としてぜひ受けていただきたいと思います。他に質問がないようですので、ご承認いただければ挙手をお願いします。挙手全員であります。

## 6. その他

・事務局より、資料はないが今後の修繕や備品購入についての見込みについて説明を行った。備品購入については、式場の木製の椅子が約 200 脚あるが、平成 4 年の供用開始依頼更新しておらずひどく傷んでいるため、買い替えを検討している。費用は、平成 27 年度の予算の中で早い段階で執行残が見込まれる場合は、その中で対応し、難しい場合は、平成 28 年度以降で考えている。200 脚買い替える場合、約 500～600 万円かかると思われます。続いて修繕ですが、資料に陸屋根の状況写真を付けており、陸屋根の防水カバーが傷んでおり、パッキンが浮き上がっている状況です。このまま放置すれば雨漏りが生じる恐れがあり、屋根

修繕も供用開始以来一度も行っていないことから修繕が必要と考えている。費用は、約 2,200 万円で平成 28 年度以降近いうちに行う必要があると考えている。次に 6 基ある火葬炉ですが、毎年耐火材の修繕はしているが、供用開始以来 22 年を経過し炉そのものが老朽化している。部分的な修繕ではなく炉全て新しいものに取り替える計画を立てないとならない時期に来ている。目安は平成 31 年度頃からで、1 年に 2 炉ずつ交換、費用は 1 炉につき約 5,000 万円、6 炉で約 3 億円かかると見込んでいる。火葬炉は年間約 2,300 体を火葬しており、毎日常に稼働しております。故障で使用が不能になることがゆるされない施設であるので、計画的な改修をしなければならないと考えている。建物全体がかなり老朽化しており必要不可欠な修繕が多くあり、それを優先的に行っていきたい。以前の協議会でシャワー室の設置について要望がありましたが、それについては委員の皆さまのご意見を伺いながら検討していきたい。さらにその先を見据えると床や空調機器もいずれは大規模な改修が必要になってくると思われます。

○丸山委員 陸屋根の修繕ですが、平成 28 年度以降やるとのことですが、それまではどう対応するのか、修繕も具体的にどう行うのか。

◆事務局 ご覧の写真の下に防水処理はしており、現状今雨漏りしているわけはありません。このパッキンのめくれを放置するといずれは雨漏りするだろうとの事なので、平成 28 年度までは何とかこのままで平成 28 年度に全て陸屋根の修繕を行うということで考えています。

○相川副会長 今回で最後にしますが、受益者に負担をお願いするべきです。富里市は非常に予算を作るに厳しい財政状態ですので、それを基金として積み立てておきたい、大きな負担があるときにその基金で支払いたという気持ちもある。これは待ったなしだと思います。まして炉が壊れた時とかは待ったなしの負担だと思います。これを全て税金でまかなっていくのか、あるいは受益者から多少の負担をいただいてそれでまかなっていくのか。ぜひ成田市で検討していただきたい。

◆小泉議長 現在は、実際基金がないので、いざ大規模な支出の時は、各市で予算を組んでまかなっていくことになると思いますが。これは成田市の方で検討ということでしょうか。

◆事務局 平成24年度の協議会において火葬炉の有料化については、引き続き各市議会で協議いただくということになっています。

◆小泉議長 一度各市の議会、担当部署で話し合ってくださいということでしょうか。

○相川副会長ほか わかりました。

## 7. 傍聴

1名

## 8. 次回開催予定

平成28年1月下旬